

ミランダルマスタリ学校・統一試験への取り組み

特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン
理事長 マナダール マダーブ ナラエン

ネパールで行われている全国統一高等学校卒業試験、SLC は SEE と名前を変え、今年からスタートした。

SLC は School Leaving Certificate の略で SEE は Secondary Education Examination の略になる。これからの新しい教育制度に合わせたものだ。10 年生修了時は SEE、12 年生修了時は SLC を受けることになる。

新教育制度に関しては、全国一斉スタートとなるのは難しい部分があり、学校側と政府側の交渉が続いている。最終決定されてから、また報告したいと思う。

今回はミランダルマスタリ学校の受験に際しての取り組みを紹介したいと思う。今年の SEE 受験生 16 名の内 13 名がミラン寄宿舎で合宿し 2 ヶ月間、集中講義を受けている。先生方 5 名も同じく寄宿舎に滞在する。これは以前から行われているもので 3 ヶ月前から始められた年もあった。食費込み滞在費、講習料/月、8 千~1 万ルピー-かかる。今年は学校からの受験該当者に里子はいないが、もしいた場合、参加費は無料となる。費用が掛かるものなので任意参加ではあるが、学校は参加を推奨している。これはダルマスタリに限った事ではなく、ネパールの多くの私立学校では取り入れられている。

また 8 年生の郡統一試験、DLE は District Level Examination の略で受験生 25 名いて 5 名が SEE 受験生と一緒に合宿して講義を受けている。費用は上記内容で 8 千ルピー-になる。

合宿期間中は全科目の講義を受けるが、不得意科目は個人的に指導もしてくれる。昼間は学校、放課後は集中講義、学習の日々が受験まで続く。24 時間一緒の生活は連帯感を生み頑張りにも繋がる。解らないことは先生にすぐ聞いて受験勉強に集中できる良い環境だ。一息つける時間は仲間とのお喋りで疲れを癒し、負けない力を養う。

合宿の参加教師はジャヤラム・ラミチャネ校長、アルジュン・フンヤル先生、ルパク・アディカリ先生、ゴビンダ・タパ先生、スミトラ・アディカリ先生である。調理担当のスタリ・スレスタ女史はいつもの何倍もの忙しさと頑張っている。



旧・制度	新・制度	2018 年～	新・進学試験
小学 1~5 年生		初等教育	8 年生で 郡統一試験 DLE
中学 6~8 年生			
高校 9~10 年生	高校 9~12 年生	中等教育	10 年生で全国統一試験 SEE
短大 11~12 年生			12 年生で全国統一試験 SLC